

橋本市が NO.1 になるための取り組みについて、下記に記述してください。

<u>1. テーマ</u>
学生トラベラーズカフェ
<u>2. 目的・ねらい (why)</u>
市内の高校生たちに飲食店経営を通して心に残る思い出を作ってもらい、地域との交流を行うことで橋本市への愛着心を深めてもらう。 高校生たちに数カ月ごとに同じ物件を利用してカフェを企画・運営することで、学生たちに店舗の運営についてのノウハウを通じた実社会に近い流れや経験を積んでもらう。 この企画を効果的に PR し、市内外からの利用客の増加を促し、橋本市での楽しい思い出を作ってもらい、橋本市に住んでもらうきっかけを作る。
<u>3. 課題 (what)</u>
・食品を扱うことや、客商売という行為に対して、学校側から理解を得ることができるか ・既に高校生が主体となってカフェを運営するところはいくつか存在しており、目新しさという部分では欠けてしまう感が否めない。
<u>4. 対象者・対象範囲 (who・where)</u>
市内に存在する高校に在籍する高校生、市内在住の高校生
<u>5. 実現手段・内容 (how)</u>
・保健福祉センターの3階部分及び中庭のスペースを利用する。 ・開店時間は土曜日と休日だがイベント等が開催される開館日を予定。 ・カフェ運営を通して地域住民との交流を深めることにより、地元への愛着心を深めることが目的であるため、対象は休日に図書館や保健福祉センターを利用する市民とする。 ・調理等を調理室や栄養指導室で行い、3階の多目的ホールをメインの飲食スペースとして確保。希望者がいれば中庭も開放し、そちらでも過ごしてもらえるようにする(但し、メニューは3階で渡して、自分達で中庭に持ってもらうなど少々の工夫は必要) ・デザインやコンセプト、メニューや看板、内装などは極力学生たちにデザイン、準備をさせる(家具やインテリアなども可能であれば自作してもらう?基本

的な設備は共通で、それ以外をどう工夫するか、という形でもよい)

・一店舗当たり数か月程度の期間で店を変えていく(物件や立地条件等が一緒の状態を担当する学生をはじめ、アイデアやコンセプト、メニュー等も丸ごと全く別の店に変わる)というところで、他の学生カフェとは違う趣を打ち出すことで対外的な面でのPRも行う。

・店舗運営に関しては、既に学生カフェを行っている、和歌山大学のCafé Withを運営している学生などに話を聞いて、必要な許可や資格等について検討し、協力を依頼する。

・NPO等に関わりを持ちたいと言ってもらえるところがあれば、そちらに委託していくということも視野に入れておく。

6. 実施時期 (when)

一年中。

一ヶ月～数か月単位で担当する店は変わっていく。

7. 実現するための体制 (who)

店の最低限の方針等監督及び各種手続きや関係各所と連絡等の調整を行う担当者を市職員から選定。

食品の取扱等に対しての指導者が最低1人(専門的知識を持つ人や、橋本市在住で店舗運営の経験がある人など)

実際に調理・接客等について開店前に指導をしてもらえる指導者(可能であれば市内の各店舗等で一定期間実際に経験を積んでもらう)

8. 効果

・橋本市の住民と関わりを持つことで、地域とのつながりを深めることができ、地元への愛着心が強くなる。

・自分たちで店の運営を行うことで、お金の流れや働くことがどういうことなのかなど、実社会に出たときに必要な知識と経験を積むことができる。

様々な立場の人間と関わる必要が出てくるため、コミュニケーション力等も育まれる。

・また、学生たちそれぞれが店を良くするために積極的に取り組み、自身のスキルの向上が図れる。

以上の観点から、社会のあらゆる場面で力を発揮できる地力を備えた人材として成長することができる環境を提供することで、子育て世代が自分の子どもを育てる場として橋本市を選択し、定住を行ってくれる一助となると考えられる。

9. その他

アルバイトという既に形のあるところで働くのではなく、働く場所の形を自分で1から考えることができるという点は、現在中学校で行われている就業体

験ではどうしても経験することができない。

そして、自分達で責任を持って行動しなくてはならないという環境は、多感な高校生という年代にとってとても強い刺激を与えてくれるはずである。

本来は自主的に行動を起こしてくれる高校生がいれば最も望ましい。しかし、0から自分で動くことはできなくても、適切な場を与えてあげれば力を発揮する生徒が橋本市にはたくさんいるはずである。

そのような子どもの可能性を最大限に発揮する環境を模索し続けることこそ、我々行政の義務であると認識している。

今後子育て NO.1 を謳い定住促進を目指していく橋本市にとって、こういった多くの刺激を与えてくれる場を提供する下地を作ることは非常に意義のあることであると考えている。

